

数学 岐阜大学 教育学部（口）、工学部、応用生物科学部（応用生命科学課程、生産環境科学課程）、医学部（医学科）（前期） 1 / 1

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

解答形式

全問論述式

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化）

出題の特徴

5題必須.

大問1題が3～5問の小問から構成されている.

その他トピックス

各大問の最初の小問（1）が易しいものになっている.

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	ベクトル, 三角関数	数学II 数学B	倍角の公式 空間ベクトル, 内積	標準
2	数列	数学B	漸化式	標準
3	場合の数	数学A	順列	標準
4	数列, 微分法	数学B 数学III	数学的帰納法 第n次導関数	標準
5	複素数平面	数学III	回転, 複素数の実部・虚部	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

ここ数年の出題傾向を見ると、微分法・積分法、場合の数・確率、ベクトル、数列、三角関数がよく出題されている。また誘導形式の問題が多く出題されている。

標準レベルの良問が出題されるので、頻出問題を繰り返し解くとよい。問題文をよく分析し、粘り強く解法を組み立てていく力と、文字を含む計算を正確に行う力が必要である。また、場合の数・確率については、正確に数え上げる力も必要とされることがある。解法を暗記するだけの学習ではなく、解法の道筋をきちんと捉え、応用力を養うように心がけて学習してほしい。